

第2回 新居浜市政策懇談会 第3分科会（経済再生） 議事録

日時 平成28年9月13日（火）15:00～

場所 市役所3階 応接議会議室

議題	発言者	議事、発言内容
		<p>【出席者】</p> <p>(委員) 曾我部謙一会長、越智秀司委員、秦誠一氏（小野委員代理）、河野治広委員、迫原修治委員、佐々木賢次委員、萩尾孝一委員、鎌田真太郎氏（畑田委員代理）、福本頼幸委員、宮部隆彦委員、飯尾和之氏（米谷委員代理） 11名</p> <p>(事務局) 鴻上浩宣経済部長、赤尾禎司産業戦略監、高岸秀明次長兼農林水産課長、黒下敏男次長兼産業振興課長、高橋利光運輸観光課長、山内敏弘農地整備課長、藤田和則別子山支所長、宮崎司産業振興課主幹、須藤充史産業振興課副課長、松原広産業振興課副課長、宝田直樹産業振興課主任、村上泉産業振興課主事</p> <p>藤田康地方創生推進室室長、佐藤秀樹総合政策課係長 14名</p> <p>【欠席者】</p> <p>(委員) 伊藤学委員、伊藤康雄委員、越智俊博委員、高橋征三委員、松下博彦委員、柚山一利委員 6名</p>
開会		
委員長あいさつ	曾我部会長	
検討内容等の説明	事務局	
平成25年度提言事業の変更箇所について説明	高岸農林水産課長	<p><26-2>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業実績は増加しており、その後の農作物の栽培につなげたい。JAを中心とする関係機関との連携を強化しながら、農地に戻していく。
		<p><26-3>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在は水産業のみだが、今後は農林業の分野についても考えていく。
	黒下産業振興課長	<p><26-5>5.改善すべき点等</p> <ul style="list-style-type: none"> 食市場化等中心商店街の活性化について、商店街、

		商工会議所、市の3者によるまちづくり協議会での協議を踏まえ、実効性のある策を検討していく必要がある。
-	高橋運輸観光課長	<p><26-6>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信ツールの進展は早く、現在はSNSにシフトしてきていることからブロガー旅行記は廃止。今後はブロガー旅行記に変わって、インバウンドに対応するため多言語による情報発信を行っていく。 ・部局方針について、縮小→改善して継続に変更。
	黒下産業振興課長	<p><26-11>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地購入は平成28年度に完了しているため削除。 ・造成については平成28年度も引き続き実施。
質疑応答	曾我部会長	<p><26-2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地は一般市民にも開放するのか。 ・市民農園のように、一般の農業をやりたい人に貸し出すのか。
	高岸農林水産課長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の開設に向けた動きはまだない。 ・「自然農園を育てる会」という団体はある。
	福本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・農協としても、市の補助金を受けながら耕作放棄地の雑草を刈って耕しているだけではいけないという議論になった。 ・耕作放棄地を利用して、農協独自の市民農園を市内に2か所作ろうとしている。 ・特産物の選定を行っている。選定後は、農家（非農家も対象）に対して奨励品を作ってもらおうよう呼びかけていく予定。
	鎌田委員	<p><26-5></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3. 成果について、28年度から食市場化の試行営業とあるが、具体的には？
	黒下産業振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・食市場化の試行営業については、商店街連盟の方で9月中に生産者向けの説明会を行い、11月ぐらいから試行営業開始できるのではないかと。
	鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それは常設ということか。
	黒下産業振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・常設ではなく、月一週間程度を予定。 ・その後、改善点等をまとめ、本営業に向けての検討を行う。

	萩尾委員	<p><26-11></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5. 改善すべき点に「スピード感を持って」とあるが、企業誘致・企業留置の現状は？
	黒下産業振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地購入は終了し、造成工事にかかっている状況。 ・ 平成29年11月をめどに、分譲を開始したい。
	萩尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売り先は決まっているのか。
	黒下産業振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2工区についてはまだ。11月までに工事を終了。 ・ 売り先について、お話しは伺っているが具体的に確定はしていない。
	飯尾委員	<p><26-6><26-7></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イラストマップの配布先はどのようなところか。 ・ インバウンドへの対応については宣伝とも関係すると思うが、報道各社へのアプローチはどうしているのか。
	高橋運輸観光課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「工都新居浜観光鳥瞰図」の配布先について、対外的には観光物産展（東京や大阪等）で来場者の方に配るほか、松山空港や県関係機関、マイントピア等市内観光施設などにも配布している。 ・ 報道機関へのアプローチについて、現在インバウンドに関することについては行っていないが、今後対外的にPRしていきたい。
	佐々木委員	<p><26-3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 六次産業化に取り組んでいる人物が市内に他にいないため、山崎氏の取り組みがモデルケースとなる。市が補助を行っていく中で、問題が無いよう審査、指導をお願いしたい。
承認		
平成26年度提言事業の変更箇所について説明	黒下産業振興課長	<p><27-1>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「中小企業の経営の安定化を図るため」を追加。
		<p><27-2>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何に有効か明確化するため「経営力改善に」を追加。
		<p><27-3>方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 何に効果的か明確化するため「技能伝承に効果的な事業であることから」を追加。
		<p><27-6> 5. 改善すべき点等、H29年度部局方針、方針理由</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・スイーツのみに限らず他の食品加工品についてもブランド化できるものはないか発掘していきたい。 ・部局方針について、継続→改善して継続に変更。
		<p><27-7> 5. 改善すべき点等、H29年度部局方針、方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度のPRを推進し、利用を促進する必要がある。 ・部局方針について、継続→改善して継続に変更。
		<p><27-8> 方針理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、えひめ東予産業創造センター、日本政策金融公庫、新居浜市の4者の連携を引き続き図りながら、起業者が創業しやすい体制を維持していく。
質疑応答	萩尾委員	<p><27-1></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の額はこれで決定しているのか。
	黒下産業振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・現状としてはこの額。
	萩尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し額を増やしてほしい。 ・H27の予算額を見たところ増額していることから、要望が多いのではないか。
	黒下産業振興課長	<ul style="list-style-type: none"> ・申請の状況を見ながら、補正していきたい。
承認		
新たな取組内容の説明	鎌田委員	<p>26-6「観光情報発信推進事業補助金」の新たな取組「多言語マップ・パンフレット制作事業」</p> <p>資料新たな取組提案書に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「工都新居浜観光鳥瞰図」はH28年度3万部製作。 ・A5サイズ18ページの外国語版観光パンフレットを作成しているが、情報更新の必要性や在庫数減少によって改訂版作成を迫られている。
質疑応答	河野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現況で、訪日外国人の国別の比率は？
	鎌田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新居浜市への年間入込観光客数は227万人、そのうち外国人宿泊客数は3,943人。H26年では221万人のうち2,479人。愛媛県のH26年入込観光客数は2,646万8,000人、うち外国人宿泊客数は6万4,000人。 ・外国人宿泊客数は徐々に増えている。 ・日本全体で訪日外国人は増加傾向。昨年は2,000万人超。今後東京五輪もあり、さらに増加すると思われるため、新居浜にも引き寄せたい。

承認		
新たな取組内容の説明	越智秀司委員	<p>26-8「県外物産展開催事業補助金」の新たな取組「ギフトショウ出展」「売れるものづくり研修」</p> <p>資料 新たな取組提案書に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別子飴本舗では15年ほど前から各種物産展に毎年出店しており、それによってバイヤーからの注文が増えたという経緯がある。 ・物産やふるさと納税などのブラッシュアップを図っていかなければ他市との競争に勝てない。
承認		
新たな取組内容の説明	迫原委員	<p>27-4「奨学金返済支援事業補助金」の新たな取組「新居浜市定住促進奨学金」</p> <p>資料 新たな取組提案書に基づいて説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に就職を考えたときにするのが効果的ではないか。 ・現行の市の奨学金制度に組み込む形で実行していくのはどうか。
質疑応答	飯尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・月額2万円×5名×12か月では120万円ではないのか。
	迫原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・それを2年間行うので240万円。
	曾我部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法はどのようにしていくのか。
	迫原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ周知していくのが効果的と考えている。
	曾我部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大学に進学した方に対しては、名簿か何かを利用して周知を行っていくのか。
	迫原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から子供へ伝えていく形を想定している。
	曾我部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、新居浜市の広報を活用するということか。
	迫原委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報を利用していく。
	曾我部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の方法を考えていかなければいけない。 ・予算をとっているだけで活用されていない事例が多い。
承認		
事務連絡	曾我部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・審議した検証結果、ご提案について、今後開催予定の政策懇談会全体会での報告、及び報告書の作成は会長に一任させていただいてよろしいか。
承認		
閉会		

